



表紙「四日市の心に残る風景」
ふれあい牧場と茶畑

特集

平成27年3月末

「四日市公害と環境未来館」が開館します！

同時に市立博物館もリニューアルします

スマートフォンなどを使えば、
表紙に関連する動画が見られます！

1. 裏表紙のQRコードを読み取る
2. 「まるごと四日市」サイト内の広報紙のメニューを起動
3. 「広報よっかいち」ロゴにスマートフォンなどをかざす

※利用には無料アプリ「junaio」のインストールが必要です



平成27年
3月末

「四日市公害と環境未来館」が 開館します！

同時に 市立博物館も
リニューアルします



平成27年3月、「(仮称)四日市公害と環境未来館」が博物館内に開館(予定)します。

さらに、開館20周年を迎えた博物館の常設展示やプラネタリウムも、一体的にリニューアルすることで、本市ならではの魅力ある施設に生まれ変わります。

「道(交通)」と「暮らし」を両施設共通のテーマとした上で、本市の歴史の中に『四日市公害の発生と環境改善のプロセス』も位置付け、環境について未来志向で考えるための学習・情報発信施設が「(仮称)四日市公害と環境未来館」です。

今回の特集では、それぞれの施設の概要について紹介します。

※活動スペースは、
じばさん三重内に整備予定

(仮称)四日市公害と環境未来館

目的

四日市公害の歴史と教訓を風化させることなく次世代に伝えるとともに、環境改善のまちづくりと産業発展の中で得た知識と経験、技術を生かし、都市と環境が調和するまちづくりをさらに進め、未来に豊かな環境を引き継ぎます。

さらに、公害や環境問題に対する本市の取り組みを国内外に広く情報発信する拠点として、「(仮称)四日市公害と環境未来館」を整備します。

内容

主に次の3つのエリアで構成します。

1

展示エリア

博物館2階

公害や環境に対する体系的な展示や体感・体験的な展示を行い、公害や環境に興味や関心を持っていただきます。

2

学習エリア

博物館1階

語り部の講話や体験型の環境学習の実施のほか、書籍・資料を整備し、公害・環境に関する研究・学習を支援します。

3

活動エリア

じばさん三重2階

会議室や掲示スペースを設け、環境活動を実践する団体などを支援します。

四日市公害

本市は、約半世紀前に「四日市公害」を経験しました。

当時の日本は、戦後復興から高度経済成長期に入り、経済優先の社会背景のもと、全国各地に大規模な工場が次々と建設され、工場周辺ではさまざまな「公害」に悩まされるようになりました。

本市も、大気汚染によって多くの人々がぜん息^{りかん}に罹患しました。(現在も、公害病認定患者数は400人を超える状況です。)

こうした状況を受けて、全国に先駆けて昭和40年に本市が実施した公害健康被害者に対する医療費救済制度、そして昭和42年に提訴された四日市公害裁判などは、日本の公害問題の解決への道を開き、産業と環境を両立させるきっかけになりました。

市民、企業、行政が一体となった環境改善の取り組みなどにより、昭和51年に、ぜん息の主な原因とされる二酸化硫黄濃度は、国の基準を市内全域でクリアするようになりましたが、公害発生後の取り組みや歴史が全国的にほとんど知られていないため、いまだ「公害のまち」のイメージは色濃く残っているのが現状です。



昭和40年代のコンビナート



現在のコンビナート

展示エリア/2階

展示エリアを「①産業の発展と暮らしの変化」「②公害の発生」「③まちづくりの変遷」「④環境改善の取り組み」「⑤現在の四日市」「⑥環境先進都市四日市」の6つのコーナーに分け、公害による被害のほか、公害発生に至る経緯や環境改善の取り組みなどを展示します。

四日市公害に関する資料や映像などを通じて、環境と産業、そして人々の生活との関わりを学び、環境の大切さを体感して、未来の環境を考えてもらう場とします。



2階 展示エリア イメージ図



① [産業の発展と暮らしの変化] コンビナート形成に至る社会背景と暮らしの関わりを紹介します



② [公害の発生] 四日市公害と他の大気汚染公害の概要を紹介します

語り部・ 展示解説を しませんか？

「(仮称)四日市公害と環境未来館」の2階の展示エリアでお手伝いいただく語り部・解説員を募集します。下記のとおり説明会を実施しますので、ぜひご参加ください。詳しくは、広報よっかいち2月下旬号でご案内します。

1. 日時 平成26年3月15日(土) 10:00～16:00
2. 場所 環境学習センター(本町プラザ4階)

学習エリア/1階

学習エリアでは、皆さんの公害・環境学習のお手伝いをします。

研修・実習室では、四日市公害についての語り部の講話やガイダンスを見ていただくほか、エコ工作などのワークショップを行います。

また、図書スペースには公害・環境に関する本を1万冊程度備え、展示・交流・学習スペースでは自習などができます。



1階 学習エリア イメージ図

活動エリア/じばさん三重2階

博物館北側のじばさん三重の2階に「(仮称)四日市公害と環境未来館」の活動エリアとして、環境活動にご利用いただけるスペースを設けます。

活動エリアには会議室やロッカーのほか、皆さんの活動を展示できるスペースなどを用意します。

寄附 の お願い

「(仮称)四日市公害と環境未来館」の整備・運営にご共感いただける方からのご寄附を4月から募ります。

未来に豊かな環境を引き継ぐために、ぜひ、ご支援いただきますよう心からお願いいたします。詳しくは、四日市公害と環境未来館準備室(☎354-8065)にご連絡いただくか、ホームページ(HP <http://www.city.yokkaichi.mie.jp/yokkaichikougai-kankyomiraikan/>)をご覧ください。



2 [古代] 久留倍の村 (竪穴住居)



3 [中世] 四日の市



4 [近世] 四日市宿

展示ケースの中に資料を並べるのではなく、四日市の各時代の特徴を象徴する建物や道具を原寸大で再現し、古代から江戸時代までの四日市の発展と、そこに住む人々の暮らしを展示します。

博物館に来なくては得られない情報を体感することで、四日市の歴史を振り返り、未来を考える場となることを目指しています。

また、明治時代以降の歴史を2階の「(仮称)四日市公害と環境未来館」で扱うことで、両館を通じて古代から現在までの四日市の歴史を連続してご覧いただける展示とします。

博物館休館のお知らせ

博物館はリニューアル工事のため平成26年5月12日から休館します。なお、工事休館中も出前講座や移動天文車きら号の活動は継続して行います。

市立博物館 プラネタリウム/5階

宇宙船に乗って
宇宙への旅に
出よう!

世界で最も先進的な プラネタリウム!

プラネタリウムは宇宙ステーションの展望フロア!
投映できる星の数は、現在の2万5千個から1億4千万個と、世界最多の星の数になります。
宇宙空間でキラッと輝く星も、地上から見た自然な星空もどちらも体験できる光学式投映機と、大迫力の全天周8Kデジタル投映機で臨場感ある星空を再現し、あらゆる角度から宇宙を体感できます。

プラネタリウムイメージ図

プラネタリウムは、従来の「地球から見た宇宙」という視点だけでなく、「宇宙からみた地球、宇宙からみた四日市」という新たなまなざしで、私たちの星「かけがえのない地球」を見つめ直す新時代のプラネタリウムへと進化します。

私たちと宇宙をつなぐスペースポート

5階展示コーナーでは、地球でいま何が起きているか、宇宙からの視点で「地球環境」を学ぶことのできるコズミックギャラリーとコズミックラウンジを整備し、宇宙への憧れを楽しく演出します。



宇宙および宇宙から見た地球環境をテーマにした展示を行います



地球環境や宇宙の不思議を学ぶワークショップを行います

編集後記

今回特集した「(仮称)四日市公害と環境未来館」と「市立博物館」は体感・体験型の施設となる予定です。四日市を地球規模で感じ、見つめ直すことで、きっと自分たちのまちに誇りが持てるようになると思います。皆さんもぜひお越しください。
(四日市公害と環境未来館準備室 山岸、博物館 廣瀬、広報広聴課 丹羽)

●この特集についてのお問い合わせ・ご意見は 四日市公害と環境未来館準備室 ☎354-8065 FAX 354-4412

博物館 ☎355-2700 FAX 355-2704

広報広聴課 ☎354-8244 FAX 354-3974

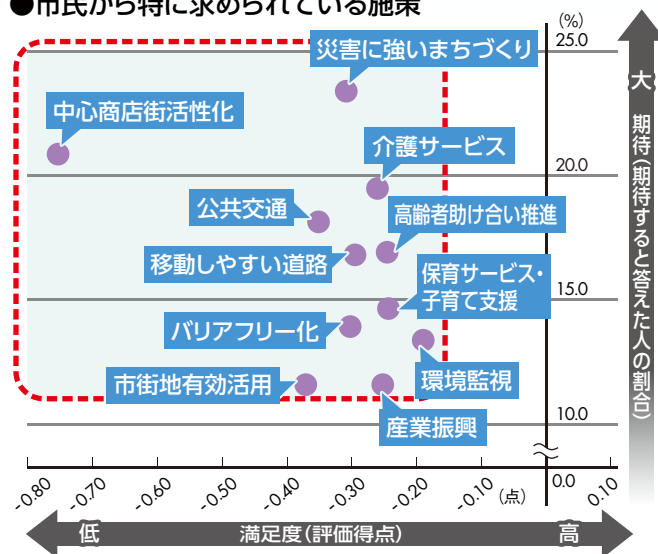


市政への満足度は？期待するものは？

市は、行政上の課題や市民生活上の問題点について、市民の皆さんの声をお聴きし、市政に反映していくために、昭和48年度から毎年、市政アンケートを実施しています。今回も、市政各分野の満足度・期待を中心にお聴きし、多くの皆さんから回答をいただきました。本年度の結果のあらましをお伝えします。

満足度が低く、期待が大きい項目を特に求められている施策として抽出しました

●市民から特に求められている施策



《アンケートの概要》

対 象 市内に居住する20歳以上の5,000人(無作為抽出)
期 間 平成25年8月5日～30日
回答数 1,801人(回答率36.0%)

今回のアンケートでは40項目中11項目が「市民から特に求められている施策」に該当し、そのうちの2項目に高齢者福祉に関する項目が入りました。

また、防災対策に関連した「災害に強いまちづくり」への期待は、東日本大震災以降大きく上がっています。

●特に求められている施策への取り組み例

〈高齢者福祉への取り組み〉

多様化するニーズに対応するため、相談や見守り機能の充実や、訪問看護などの医療サービスの拡充を図るとともに、今後の要介護高齢者数の増加も踏まえた計画的な施設整備を進めています。

〈災害に備える取り組み〉

津波避難ビルに指定している小・中学校の校舎の屋外階段や屋上の手すりの設置、屋上への自家発電装置の設置など、避難対策の充実・強化を図っています。

〈環境監視の取り組み〉

市内11カ所の測定局で、24時間大気の大気監視測定を実施しています。



大気の自動測定機器

自由意見へもたくさん意見が寄せられました

合計997件のご意見をいただきました。

内容別件数では、市職員の対応が悪いという意見がある一方、対応が以前と比べて良くなったと思うという意見をいただくなど、市職員の対応・窓口サービスなどへ92件と最も多くの意見が寄せられました。次いで、道路の混雑の改善や道路のメンテナンスなど、道路に関する意見が90件寄せられました。

アンケートにご協力いただき、
ありがとうございました

アンケート結果の詳細は、市ホームページ、市政情報センター、各地区市民センターおよび楠総合支所でご覧いただけます

地域の中での 女性の活躍促進

まちづくりに
女性の力を

男女共同参画社会とは、男女が対等な立場で、ともに参画し、ともに責任を担う社会をいいます。男女共同参画の推進は、コミュニティの基本である「地域」から推進する必要があります。市では、地域力の一層の向上を目指し、「防災とまちづくり」を題材として、男女共同参画の推進に取り組んでいます。



自治会、NPO、行政が車座になって、知恵を出し合いました
(平成25年11月30日 日永地区)

「防災」をキーワードに、 男女がともに考えるまちづくりを目指しています

地域で防災について話し合うときには、男女のニーズには違いがあることを理解し、意思決定の場で男女が共に意見を出し合える環境をつくるのが大切です。

東日本大震災では、例えば避難所運営において、女性の視点が欠けていたために、授乳室や更衣室がなくプライバシーの確保ができなかった、生理用品や育児用品が不足していたなど多くの問題が指摘されました。

地域とNPOと行政と一緒に進めています

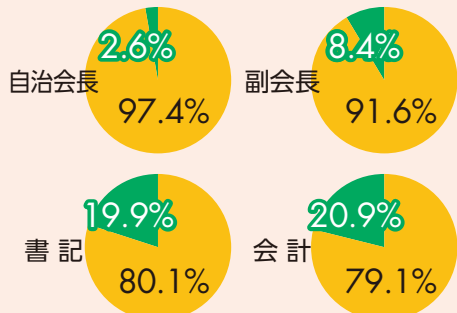
自治会や自主防災組織をはじめ、さまざまな地域団体の皆さんとNPO、そして行政と一緒に、多様な価値観、発想を出し合い、自分たちのまちの防災計画やマニュアルなどに女性の視点を反映させるには何が必要かを話し合っています。まずは、「決める場に女性がいること」が大切なのです。

東日本大震災の被災者でもある、もりおか女性センター長の田端八重子さんに女性の視点の大切さについてお話をいただきました(平成25年12月1日 港地区)



市内自治会役員の男女構成

■女 ■男



四日市市自治会アンケート(平成24年実施)より

目指すは

にいまる にいまる さんまる
202030

国は、男女共同参画社会の実現のために、「社会のあらゆる分野において、2020年までに指導的地位に女性が占める割合を少なくとも30%程度にする」という目標を掲げています。

一昨年、市内の自治会に実施したアンケートによると、女性が自治会長になることについては、「良いことだと思う」が7割を超えていますが、実際の女性の自治会長はわずかに2.6%でした。女性が少ない理由として、アンケートでは、「ずっと男性がやってきたから」という慣例の問題や、「女性が引き受けたがらないから」という女性側の意識の問題も明らかになりました。

誰もが住みよいまちにしていけるために、男女共同参画の視点をもって、男女ともに意識を変えてまちづくりに取り組んでいきましょう。



老若男女、各分野で活躍するさまざまな「四日市人」を取材して、その人の言葉で四日市の魅力などを読者に伝えるコーナーです。
CTY「ちゃんねるよっかいち」でも紹介します。
放送日時：2月11日～3月10日 6：40・20：30
(土・日曜日は6：40を9：00に変更)

○独学で、自分の感覚でゴルフ



ゴルフを始めたきっかけは5歳の頃、父親のゴルフの練習について行ったのがきっかけです。その後は、どんどんゴルフの面白さにはまり、自分からゴルフの練習をしたいと言うようになっていました。

もともと教えてもらうことがあまり好きではありませんでしたので、コーチをつけずに、独学でやってきました。球を打つフォームなど、型は気にしていませんので、自分のスイングをビデオで見たりはしません。子どもの頃からフォームよりも自分の感覚を大事にして、ゴルフに向き合っています。

○初優勝したときの気持ち



ゴルフが好きで始めて、その延長で、プロとして限られた人の中でプレーできていることは誇りです。そんな思いで、一試合一試合、一生懸命やってきましたが、こんなに早く優勝できるとは、自分でもびっくりしました。

優勝した試合は両親も見に来てくれていましたの



かわ むら まさ ひろ
川村昌弘さん

昨年9月に開催された「2013アジアパシフィックオープンゴルフチャンピオンシップ パナソニックオープン」で、見事初優勝を果たした大井の川町出身で、本市の観光大使でもあるプロゴルファーの川村昌弘さんにお話を聞きました。

プロ2年目の20歳3カ月4日での優勝は、日本のツアー史上5番目の年少記録となります。

で、両親の前で優勝できて本当によかったです。

プロになって2年目で優勝することができて、順調に成績が残せていると感じています。

○ゴルフを通して さまざまなところに行ってみたい

実はゴルフが好きな大きな理由は、ゴルフを通して、さまざまな場所に行って、その自然を感じることが出来るからです。純粋に、いろいろなところに行くことが好きなんです。子どもの頃からの夢は、全英オープンで優勝することですが、これからもっと活躍して、アジアやヨーロッパなど海外で広くプレーして、さまざまなところに行ってみたいです。

○四日市市の観光大使として一言

観光大使の、こにゅうどうくんの形をした名刺は、皆さんに好評です。これからは世界中で名刺を配って世界中の人に四日市を知ってもらえるよう頑張ります。



有料広告掲載欄

『交通事故・借金問題・相続・離婚・不動産・その他法律問題』で

お困りではありませんか？

借金
借金で困っています。会社やお店はどうすれば...？

交通事故
保険会社の対応に納得できません。これからの交渉はどうすれば...？

相続
遺産分割の話し合いができません。

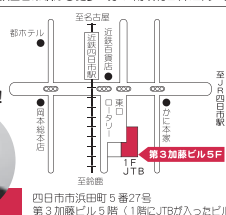
離婚
調停や裁判の対応の仕方がわかりません。

「安心してご相談ください！
お一人お一人私が丁寧に
対応します！」

まずはお電話ください！



近鉄四日市駅から徒歩1分！南改札口(東口)すぐ！



尾市法律事務所

弁護士 尾市 淳二 (三重弁護士会所属)

◆土曜日や夜間も対応可(要予約)◆
《予約制》059-350-2080

(財)日弁連交通事故相談センター三重県支部相談員・鈴鹿市役所市民法律相談担当弁護士

◆交通事故・借金問題のご相談は無料です◆
◆一般法律相談料(初回) 30分 5,000円(税別)◆

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

四日市の 地区自慢

保々

「保々の歴史」を次世代へ!!

保々地区は市内北西部に位置し、いなべ市と東員町、菟野町と隣接しています。(1月1日現在:人口7,306人、面積10.86㎡) 地区の中央を朝明川が東西に流れ、ホテルが飛び交う自然豊かなまちです。

一方、古墳(9カ所)や遺跡(18カ所)が点在するなど、史跡の多い歴史のまちでもあります。その歴史を次世代へ伝え、ふるさとを見直してもらおうと、地域住民が“保々歴史を語る会”を発足し、“歴史案内板(※)”の設置、“ふるさと歴史マップ”や“ふるさと保々”の作成、地区内の史跡を巡るウォーキング大会の開催などの活動で「保々の歴史」の保存と啓発に努めています。今回は、その史跡の一部を紹介します。



※平成14年から毎年作成し、地区内に約50の案内板や道しるべが設置されている



◆若宮古墳(殖栗連の墓)【小牧町北】

8世紀頃、現在の保々地区一帯を治めていた殖栗連の墓であると、地元で伝承されていました。明治15(1882)年に発掘が行われ、横穴式石室であることが判明し、室内から金環・壺・須恵器環・鉄鏃などが出土されました。これら出土品は、殖栗神社(西村町)の宝物として保存されています。現地には、殖栗連の墓として碑が建てられています。

◆市場城(別名：朝倉城)跡【市場町】

足利幕府の代官であった朝倉氏が、朝明川南側にあった大樹寺を川の北側台地へ移築後、1400年代後半に築城されました。ここより西側約1.8kmにあった保々西城(西村町)の支城といわれ、永禄11(1568)年に織田信長の家臣、滝川一益の軍勢との戦いに敗れ、落城したといわれています。現在も、当時の井戸跡・空堀・土塁などが残っています。



◆神崎の常夜燈【小牧町南】

石造りの常夜燈は、旧八風道・四日市道・千種道・員弁道の五差路へ安政7(1860)年3月に建立されたものです。当時は、美濃、関ヶ原、いなべの人たちが伊勢神宮に参詣するため、ここを歩いて四日市から東海道へ出ていました。この辺りは、江戸時代から明治時代にかけて旅籠・茶店・馬屋などが立ち並び、旅人でにぎわっていたといわれています。



問い合わせ先

保々地区市民センター
(☎339-0001 FAX339-8004)

有料広告掲載欄

くわしん学資ローン

平成25年10月1日(火)
～平成26年3月31日(月)

<子育て応援金利>
(当座貸越のみに適用)

お子様(扶養家族)が2名以上いる方、または高校生以下のお子様がいる方は、適用金利から年▲0.2%でご利用いただけます。

在学期間中

『当座貸越方式』
(必要額だけご利用いただけます)

ご卒業後

『証書貸付方式』
(毎月返済)

下宿代・生活費もOK

桑名信用金庫

詳しくは、下記店舗窓口までお問い合わせ下さい。

四日市西支店 TEL 351-2577

生桑支店 TEL 332-8181

羽津支店 TEL 332-2233

大矢知支店 TEL 364-3311

川越支店 TEL 364-8811

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。



～児童発達支援センター あけぼの学園～

あけぼの学園は、心身の発達に課題や心配がある乳幼児の発達支援を行う施設です。

療育（治療保育）を行う保育士、専門的な訓練援助・相談を行う言語療法士、作業療法士、理学療法士、臨床心理士などが支援します。

療育には、市民の皆さんが利用しやすいように、毎日通園する通園グ

「子どもの遊び場」「健康」「相談」などのお知らせや呼び掛けを、子育て世代に向けて発信するコーナーです。

ループと、週1回通園する療育グループがあります。最近、利用希望者が増加傾向にあり、その需要に応えるために、療育グループは土曜日にも開設しています。

また、スタッフが地域の保育園などで集団生活に困っている児童が在籍する保育園などへ出向いて支援す



る「保育所等訪問支援」も実施しています。

心身の発達に心配のある児童に対する発達支援は、今後も質的・量的に充実していく必要があります。そのため、学園施設を利用する支援はもとより、地域への支援の充実を図り、発達支援の中核的役割を担うように努めています。

また市民の皆さんがより利用しやすい学園にするため、施設整備も視野に入れ、今後の学園のあり方を検討しています。

問い合わせ先

児童発達支援センターあけぼの学園
(☎322-2714 FAX322-2716)



～近鉄内部・八王子線沿線の文化財を訪ねて～

小古曾駅と内部駅間の線路の周辺には、米田遺跡があります。

南東側を走る国道1号までの低地帯が遺跡範囲と考えられます。

この辺りは、かつて水田が広がっていました。平成5～6年にかけて、遺跡範囲のほぼ中央部の発掘調査が実施され、主に中世の遺構や遺物が出土しました。

調査で見つかった遺構には、2基の井戸のほか、旧内部川の流路と考えられる落ち込みがありました。一

今回紹介するのは、内部地区にある「米田遺跡」です。現在は水田や宅地ですが、発掘調査で、地中には中世の人々の生活の痕跡が埋められていることが分かりました。

方で建物跡が見つからなかったことから、調査地点は当時の集落の中心ではなかったと推定されます。

出土遺物は、古いものでは弥生土器がありますが、ほとんどは鎌倉時代から室町時代のもので、土師器の鍋・皿のほか、青磁・白磁などの高級な磁器、山茶碗や常滑焼などの陶器があり、中には墨で文字や記号が書かれたものもありました。

また、低地で地下水位が高かったために木製品も比較的良い状態で残っていました。中でも、鬼瓦のように寺院や神社の屋根に取り付ける「鬼板」は、その特徴から13世紀後

半のものと考えられ、発掘調査で出土した例は、全国でも初めてのことでした。

「鬼板」などの出土遺物は、2月22日～4月6日まで博物館「館蔵品展Ⅳ」(3階サルビアギャラリー)で展示されます。



寺院や神社の屋根に取り付ける「鬼板」

問い合わせ先

社会教育課
(☎354-8240 FAX354-8308)

有料広告掲載欄



マスコットキャラクター「ココロくん」

LPガスと太陽光発電など、複数のエネルギーを有効に組み合わせ、エコと快適を両立したライフスタイルを提案します。

エネルギーと住まいの

朝日ガスエナジー株式会社

TEL: 059-332-2311

四日市市西坂部町4789-2

URL <http://www.asahigas.co.jp>

E-mail info@asahigas.co.jp

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

市内各地で開催されたイベントなどを写真と文章で紹介するコーナーです。



音楽と語り～みんなでつながろう 幸せコンサート～
(12月8日 橋北地区)

「花れん&扇谷研人」による人権に関するお話や映像を織り交ぜた心温まるコンサートが、人権週間(12月4日～10日)にあわせて開催され、地域住民を中心に約150人が参加しました。難しいと思われがちな人権について、話を聴くだけでなく、歌や映像を通して触れることで、参加者が身近に人権を感じることができる良い機会になりました。



春の七草と食べられる野草(1月5日 川島地区)

1月7日の七草を前に、川島地区乱飛のビオトープ周辺で自然観察会が開催されました。参加者は、講師の指導のもと、春の七草である、セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラをはじめ、ヨモギ、スイバなど、多くの種類の食べられる野草を採取することができました。その後、川島地区市民センターで、七草がゆと野草の天ぷらをおいしく食べました。



私の好きな

四日市

市民の皆さんから市内のすてきな風景や、その風景をバックにしたお茶目なお子さんなどの写真を寄せていただくコーナーです。今回はどんな写真かな？

あなたの大好きな四日市の写真を募集！

ご応募は、住所、名前(ふりがな)、電話番号、コメントとともに、メールか郵送、直接、〒510-8601 広報広聴課(市役所8階 ☎354-8244 FAX354-3974 kouhoukouchou@city.yokkaichi.mie.jp)へ。選定の上、広報よっかいちで掲載します(ご応募いただいた作品は返却しません)。



▶▶桜町にお住まいの田村章さんからの投稿

東海道沿いの常夜燈。60年前、初めて撮った写真がこの常夜燈だったとのこと。「付近の景観が変化しても、変わらずある常夜燈をうれしく感じています」とお気に入りの景色を送っていただきました。



▶▶和無田町にお住まいの辻土至雄さんからの投稿

「夕ぐれ」とタイトルの付いた壮大な写真を送っていただきました。流れる川の水の動きが、とても美しく撮影された一枚です。

4/13
(日)AM10時～
雨天の曜日は20日

ひなた農園で

たけのこほりしませんか？

当日はたけのこほりの後、たけのこの丸焼きとたけのこの刺身の試食会がごさいます。

参加費用：中学生以上500円、小学生以下無料

準備：汚れても構わない動きやすい服装でおこください。
(お持ちなら長靴・軍手・スコップなどをご用意ください。)

開催前日までにTEL、FAX、メールなどでお申し込みください。

駐車場が限られているため、可能な限り乗り合わせて来ていただきますようお願いいたします。



株式会社ひなた

三重県四日市市蒔田2丁目6-2

☎:059-361-2360 ☎:059-361-2361

✉:kk_hinata@alpha.ocn.ne.jp

営業時間:9:00～17:00(土・日祝日を除く)

「外国人市民とともにまちづくり」 人権のひろば～人権・同和教育シリーズ～



【災害時の外国人市民との「共助」】

東日本大震災では、多くの外国人住民も被災されました。避難所では、言葉が分からず必要な情報が手に入らなかったり、地域の住民との関係が築けていなかったりしたために、共に助け合う「共助」ができず、不安な時間を過ごした人も数多くいました。

【「共助」を推進するために】

本市では、外国人と日本人が共に「共助」の大切さの理解を深めてもらうために「外国人市民向け防災セミナー」を開催しています。このセミナーでは、住民同士が身近なものを

使った止血法や骨折の固定方法、簡易担架作りなどを体験学習した後に、意見交換を行っています。

セミナーに参加した外国人市民からは、「もっと外国人市民に参加してもらうために友だちへ伝えたい。」との感想がありました。

住民同士の「共助」を推進するには、「顔の見える関係」を築くことが大切です。そのため、外国人市民を含めた住民の交流や、地域活動への参画を図っていくことが求められています。

一人ひとりが自ら何ができるのかを考え、行動に移し、言葉や文化、

国籍の違いをこえ、共生する社会を目指しましょう。



フィリピン人コミュニティの集まりで
応急手当の実演

■問い合わせ先

文化国際課 多文化共生推進室
(☎354-8114 FAX354-4873)

表紙こぼれ話

今月は、「ふれあい牧場と茶畑」の雪景色です。

ふれあい牧場は、水沢地区にある牧場です。畜産農家から預けられた子牛を育てています。

ミニチュアホースやヤギなどとも触れ合うことができ、事前予約をすれば、乳搾り体験やバター作り教室を楽しむことができます。

また、4月～11月の期間中には、新鮮な牛乳やヨーグルト、アイスクリームなどを販売する売店も開いています。



今年度の表紙のテーマは、「四日市の心に残る風景」です。四季折々に見ることができる四日市の美しい風景をご紹介します。

■おまけショット



鈴鹿山脈の麓に位置する水沢地区の茶畑。収穫前の一定期間は、「かぶせ茶」として、黒いネットに覆われた様子を見ることができ、雪の日には、美しい雪景色を見ることができ。

■問い合わせ先

広報広聴課
(☎354-8244 FAX354-3974)

下のQRコードを読み取って、四日市市オリジナルアプリ「まると四日市」のサイトにアクセスしてね！
今回は、四日市観光案内所「お休み処 四十三茶屋」を紹介するよ！



「まると四日市」のサイト

四日市市のゆるキャラ
「こにゅうどうくん」

※「まると四日市」のサイトの広報紙のメニューを起動して、この「こにゅうどうくん」のイラストにスマートフォンなどをかざせば動画が見られます

有料広告掲載欄

お引越しをされる方へ お早めにご連絡ください！！

引越先でもCTYは使えるの？
CTYグループ ☎0120-30-6500

引越先でインターネットを使いたい！

CTYならテレビ・NET
ケーブルプラス電話が
まとめて使えるから
手続きも楽々！

【受付】月～土(日・祝日除く)
(窓口)9:30～17:30 (電話)9:00～19:00 まずはお問い合わせください。

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

■人口 313,136人 [12月末日現在(前年比-761)] ■火災件数 6件 [12月分(前年比-12)] ■交通事故件数 1,045件 [12月分]